

①自動風呂給湯タイプ

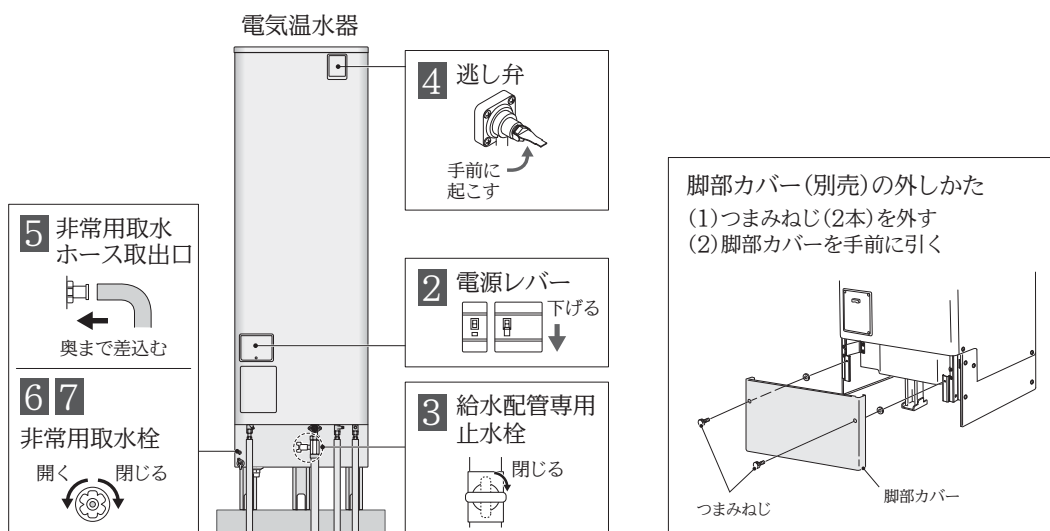
非常時の取水方法

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。



警告

- 停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることもあるのでお湯に触らない(やけどの原因)



- 1 脚部カバーが付いている場合は、脚部カバーを外す
- 2 漏電遮断器(2カ所)の電源レバーを下げ、「切」にする
● 電気の供給を停止します。
- 3 給水配管専用止水栓を閉じる
● タンクへの給水を止めます。
- 4 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
● タンクへ空気を取り入れます。
- 5 非常用取水栓ホースを取出口に取り付ける
- 6 非常用取水栓を開く(1回転～1回転半まわす)
● タンクの水(お湯)を取り出します。
バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

- 7 非常用取水栓を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける

お願い

- 再び使用するときは、「使いはじめ(準備)」の手順にしたがってください。
必ず機器を満水にしてからご使用ください。

※本方法はSRT-J37WD5を例にしております。
※非常時の取水方法は、給湯機正面のラベルでも確認できます。

①自動風呂給湯タイプ

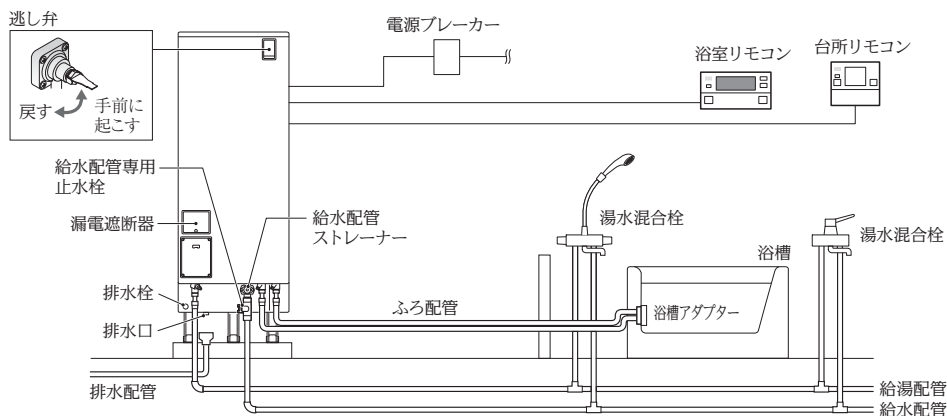
使いはじめ

タンクの水を抜いた後は、次の手順で温水器の使用を再開します。

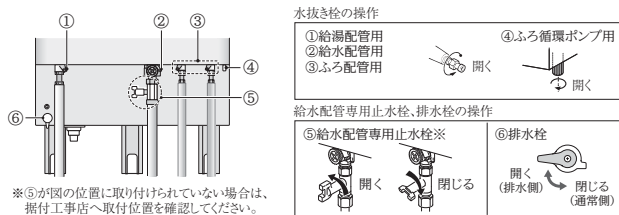
※必ず満水してから電源を入れてください。故障の原因となります。

● 逃し弁、電源レバー取付位置

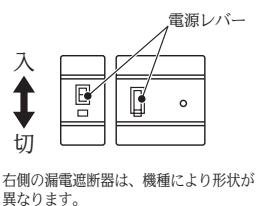
追いつきフルオートで説明しています。配管、水抜き栓の有無は機種により異なります。



● 水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置



● 漏電遮断器(2カ所)の操作



- 1 温水器を初期状態にする
 - (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
 - (2) 左側(制御用)の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする
 - (3) 200V電源ブレーカーを「切」にする
- 2 以下のことを確認する
 - 温水器の漏電遮断器の電源レバー(2カ所): 「切」
 - 温水器の水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ: 「閉」
 - すべての蛇口(湯水混合栓): 「閉」
- 3 温水器を満水にする
 - (1) 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
 - (2) 給水配管専用止水栓を開き、タンクへ給水する
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
 - (3) 温水器の排水口から水が出ると満水の合図です(満水までの目安:約30分)
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
 - (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す(排水が止まります)
 - (5) 給湯配管の空気を抜くため、蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1カ所)
 - 空気が抜け、蛇口から水が出たら閉じてください。

- 4 満水を確認後、電源を入れる
 - (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
 - (2) 電源レバー(2カ所)を上げ、「入」にする
- 5 リモコンの時刻を確認する
 - その他の設定(給湯温度、湯はり温度、湯はり湯量など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。
- 6 夜間時間帯(地域によって異なります。)にお湯をわか上げます。
 - わき上げ中は、リモコンに「わか上げ中」が表示されます。時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわか上げることがあります。
- 7 お湯を使う
 - お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯を開始し、適温に調整してお湯を使用します。必ず、湯温を確認してお湯を使用してください。

「F07」表示
 タンクが満水でないと電源を入れてもリモコンに「F07」表示が出て、わか上げを行いません。必ずタンクを満水にしてからご使用ください。また、タンクが満水になるまではリモコンに「F07」が表示されますが、故障ではありません。満水になると「F07」表示は自動解除されます。